高Ｐ連会報

発行者　宮城県高等学校ＰＴＡ連合会
仙台市宮城野区幸町４－５－１
宮城県青年会館内
TEL・FAX　022－299－4621
E-mail：miyagikopren@ia2.itkeeper.ne.jp
印　刷　創文印刷出版株式会社
仙台市青葉区春日町８－34
TEL　022－222－0181
発行日　平成29年２月17日（金）

1000回のメールより、１回の握手を

本会の山野公寛会長（仙台南高校ＰＴＡ会長）が昨年６月の会長就任あいさつで述べられた言葉です。今年度もＰＴＡ活動をとおして多くの方々が出会い、握手を交わされ、親睦を深める機会がありました。さて、今回の会報は、第１面に「平成28年度第３回常任理事会報告」として、新年度の事業計画と役員校及びフェスティバル2017発表校を、第２面～４面に特集として〔各支部長あいさつと支部研修会報告〕を掲載しました。なお、会報は本会ホームページにも掲載します。「宮城高Ｐ連」で検索。会員各位に周知願います。

平成29年度　みやぎ高Ｐ連　事業計画　平成29年１月13日第３回常任理事会決定

月	日	県	東　北	全　国
4	27（木）	会計監査（県連事務局13時30分）		
5	12（金）		第１回理事・総務委員合同会議 （仙台市　仙台ガーデンパレス）	
	16（火）	第１回常任理事会（県青年会館・13時30分）		
		各支部総会		
	31（水）	総会、新年度役員会 （パレスへいあん・13時30分～）		
6	14（水）		東北地区総会・各委員会 （盛岡市　ホテル　ルイズ）	
	22（木）	第１回各種委員会合同会議 （仙台ガーデンパレス・13時30分）		
	24（土） 25（日）			全国高Ｐ連総会・各委員会（東京ガーデンパレス）
7	6（木） 7（金）		第66回東北地区高Ｐ連盛岡大会 ６日（ホテルメトロポリタン盛岡） ７日（盛岡市民文化センター）	
	24（月）	各支部長校事務局長・フェスティバル2017 担当校会議（県青年会館14時～）		
	27（木）	生涯学習課主催県ＰＴＡ指導者中央研修会 （県庁２階講堂）13:00～		
8	3（木）		第１回総務委員会兼研修委員会 （盛岡市　ホテル　ルイズ）	
	24（木） ～25（金）			第67回全国高Ｐ連大会静岡大会（静岡市・浜松市）
9	7（木）	第２回常任理事会（県青年会館・13時30分）		
10	10（火）	みやぎ高校ＰＴＡフェスティバル2017 （太白区文化センター楽楽楽ホール）		
	15（日）			第１回全国高P連　会長・事務局長研修会（京都）
11		各支部研修会		
12	1（金）		第２回総務委員会兼研修委員会 （盛岡市　ホテル　ルイズ）	
		単Ｐ事務局長研修会（本吉支部担当）		
1	12（金）		第２回理事・総務委員合同会議 （盛岡市　ホテル　ルイズ）	
	18（木）	第３回常任理事会（県青年会館・13時30分）		
2	4（日）			第２回全国高P連　会長・事務局長研修会（東京）
	14（水）	第２回各種委員会合同会議 （仙台ガーデンパレス・13時30分）		
その他		県高Ｐ連会報発行　年２回　9月・２月 県高Ｐ連各委員会　年４回(合同委員会２回、委員会毎開催２回) 日本ＰＴＡ連合会全国大会仙台大会　平成29年８月25日（金）分科会、８月26日（土）全体会		

平成29年度役員校
担当校の会長が役員を務めます。よろしくお願いします。

＜会長・副会長（支部長）校＞
県連会長　仙台南
副　会　長
（仙塩支部長）仙台三　（仙南支部長）蔵王
（大崎支部長）小牛田農林　（石巻支部長）石巻商業
（仙北支部長）登米　（本吉支部長）志津川

＜監事校＞
松島、石巻好文館、気仙沼向洋

＜各支部選出常任理事校＞
仙台、宮城工業、宮城野、角田、古川黎明、石巻工業、岩ヶ崎、本吉響

＜各専門委員会校＞◎委員長校、○副委員長校
◇健全育成　仙台三桜、◎白石、○古川、宮城水産、岩ヶ崎、本吉響
◇進路対策　利府、角田、◎松山、○東松島、佐沼、気仙沼向洋
◇調査広報　仙台青陵、柴田、古川工業、石巻好文館、◎登米総合、○気仙沼

＜事務局長研修会担当校＞
志津川

＊東北大会発表校　仙北支部から推薦される。

＊フェスティバル2017発表校
泉館山、大河原商業、小牛田農林、石巻商業、登米、気仙沼

6支部研修会報告＆会長挨拶

本吉支部

「子どもの支援に思いを強める」

支部長　松本　　賢（気仙沼西高校ＰＴＡ会長）

11月13日（日）に60名近くが参加し、研修テーマ「地域に根ざした豊かな高校生活を支援するために」のもと、今年度のＰＴＡ指導者本吉支部研修会が気仙沼西高校において開催されました。はじめに「あれから、５年…。子どもへの支援を考える」の演題で、本県におけるスクールソーシャルワーカーのスーパーバイーザーとしても御活躍中である東北福祉大学総合福祉学部　阿部　正孝教授より御講演をいただきました。耐性と体力を高校生のうちに養うパワーが発達課題のうえで大切となることなど、子どもたちへの支援に対する熱い思いを拝聴することができ、被災地における今後の対応の重要性を考える良い機会となりました。また、気仙沼西高校がＰＴＡ活動の課題等を中心に発表したのち、東陵高校も加わり、情報交換を行いました。最後に「連携とエンパワーメントをキーワードに、地域で高校生を応援していけるよう力をあわせていこう。」と呼びかけがあり、今後のＰＴＡ活動への思いを新たにすることができました。

阿部教授からの講演会の様子

「ありがとうございました。」　　本吉支部長　松本　　賢

今年度縁あって、県高Ｐ連の副会長を務めさせていただきました。

子どもたち（我が家双子です！）の学校生活小・中・高校と12年の間に８年も本部役員をやることになるとは、全く想定外のことでした。また、県の事務局のある県青年会館には３年ほど足しげく通いました。

今思えば役員在任中に東日本大震災がおきたり大変なこともありましたが、自分の住んでいる地域だけでなく、広く県内の方々と交流することができたりと楽しい事も多くありました。今年度をもって、子どもたちの卒業とともに私もＰＴＡを卒業となります。これまでお世話になった方々に心から感謝いたします。本当にありがとうございました。

仙北支部

笑いと親子の絆の再確認

支部長　白鳥　光治（築館高校ＰＴＡ会長）

仙北支部指導者研修会は、11月11日（金）に栗原文化会館で約60名が参加し、開催されました。

前半は、登米総合産業高校の柳渕ＰＴＡ会長から統合時の苦労話やＰＴＡ活動について話題提供していただきました。その中で特に柳渕会長が「全ての学校が本丸であり、親も子も先生方も自校愛をもつことが重要となる」と語られていたことが印象に残りました。助言者である、佐沼高校の小野寺校長先生からは「社会の入口に立つ高校生は自分ができることを働きかけていくことによって自立していく。私たちは常に声がけし支えていくことが重要である。」と、築館高校の佐々木校長先生からは「この地区の共通課題を共有し、地区の活性化のために取り組むべきではないか。」と、今後のＰＴＡ活動の参考になるお話をいただきました。

後半は、築館高校ＯＢで栗原市金成出身、東方落語の今野家世はね氏により「東北弁落語にみる親学のすすめ」と題して落語を披露していただきました。会場は笑いに包まれ、楽しいひとときの中にも、親子の絆を再確認させられました。

東方落語今野家世はね氏

「未来を創造する子どもたち」の夢を実現するため　　仙北支部長　白鳥　光治

今年度、仙北支部長として活動させて頂き、ご協力頂いた皆さまに感謝申し上げます。

最近私達のＰＴＡ活動は、「本当に子供たちの為になっているのか」と、ふと考える事があります。より良いＰＴＡ活動を行うには、共に情報を共有し、良い所は積極的に取り入れ、やがて私たちの活動が次代へと引き継がれ、「未来を創造する子どもたち」の夢を実現するための手助けをして、今後も終わりなき道を歩んで行かなければなりません。愛する子どもたちが安心してより良い学校生活を送れる様に力を合わせ、共に歩んで行くことが大切と感じます。

石巻支部

「地域連携の大切さを痛感」

支部長　星　　憲（石巻好文館高校ＰＴＡ会長）

石巻支部研修会は、11月25日（金）、87名の参加を得て東松島市コミュニティーセンターで開催されました。

前半の講演では、日本製紙石巻硬式野球部監督の前田直樹氏に「企業スポーツの意義・役割～スポーツを通した社会貢献と人材育成～」と題して、１時間にわたってご講演をいただきました。企業の士気高揚については勿論ですが、並行して地元行事への参加や中・高校生を対象とした野球教室の開催などを通じ、地域貢献や人材育成を強く意識していらっしゃることをうかがい、応援はもとより更なる連携の大切さを痛感させられました。

後半の研究協議では宮城水産高校、石巻高校の２校にＰＴＡの取り組みや現状について発表していただきました。両校とも総会等への参加者不足に苦慮する一方で、新たな企画を立ち上げるなど意欲的に取り組んでいることが報告され、刺激を受けました。

日本製紙石巻硬式野球部　前田監督

「高校のＰＴＡ活動について」　　石巻支部長　星　　憲

高校生の保護者としてＰＴＡ活動に関わっていますが、小中学校の頃とは異なり保護者同士が集まる機会も少なく、少しの寂しさを感じながら行事等に参加しています。

しかし、限られた機会であるからこそ、楽しく充実した中身の濃い時間を同じ保護者の方々と過ごすことができて、多くの方が無理なく気軽に参加できるＰＴＡ活動を進めていけるように、みなさんの知恵を結集して創意工夫を重ねながら関わっていきたいと考えております。

仙塩支部

「熱い思い」を共有した会員研修会

支部長　浅野　純恵（仙台第三高校ＰＴＡ会長）

仙塩地区支部会員研修会は、11月11日（金）に仙台福祉プラザふれあいホールで、山野県高Ｐ連会長、長倉県教育庁生涯学習課協働教育班課長補佐のご臨席を賜り、160余名が参加し盛大に開催されました。

「夢～無限大～」と題した記念対談では、元プロ野球選手で現参議院議員の石井浩郎氏を講師に、フリーアナウンサーの赤間智美氏をコーディネーターにお迎えし、山野県高Ｐ連会長、豊嶋県高Ｐ連仙塩常任理事、浅野県高Ｐ連仙塩支部長の３人がパネリストとなり、活発な意見交換がなされました。石井氏は、部活動と勉強の両立に励んだ高校時代から、現代における部活動や道徳教育の重要性など幅広い話題について、時に笑いを交えながら熱くお話され、会員一人一人の心に残る思い出深い研修会となりました。研究協議では泉高校、仙台青陵中等教育学校の２校から特色あるＰＴＡ活動の発表があり、県教育庁の長倉様から両校とも学校の教育方針を理解し、協力体制が確立しているとのご助言をいただきました。特に仙台青陵中等教育学校のＰＴＡ総会への出席率が非常に高いことは多くの高校が抱えている課題を解決するヒントとなりました。

対談する石井浩郎先生

「ＰＴＡ活動に関わって」　　仙塩支部長　浅野　純恵

多くの方と出会い、多くの講演に感動し、たくさんの勉強をさせていただきました。同じ目的に向かって忙しい時間をやりくりしながら支え合った仲間とは、かけがえのない友情がうまれました。

大切な子どもたちの「成長」のために、一緒に学び、一緒に考える大人の組織がＰＴＡだと思います。役員を引き受けたことにより、思いもよらぬ良い経験ができました。

未熟な私をこれまで支えてくださった皆様に心より御礼申し上げます。

仙南支部

仙南支部会員研修会報告

支部長　関内　利宏（宮城県農業高校ＰＴＡ会長）

仙南支部教職員及びＰＴＡ会員135名が参加し、11月19日（土）に今年度の仙南支部会員研修会が、宮城県農業高等学校を会場に開催されました。午前中は、「子どもと心のキャッチボールをしよう～我が子の相棒になろう～」というテーマで、仙台白百合女子大学人間発達学科　氏家　靖浩教授による講演会を行いました。親子関係の在り方と家庭の役割について、御自身も高校生の親である先生の経験も交えながら、楽しく笑いあふれるお話をされました。講演は共感を呼び、親の悩みなど、質問が多く寄せられました。午後には、３高校による事例発表が行われ、白石工業高校、大河原商業高校、名取高校のＰＴＡ会長より発表

仙台白百合女子大学の氏家靖浩先生による講演会

がありました。各校からはＰＴＡ活動における示唆に富む内容と、抱えている課題や改善策が紹介されました。成果や問題点を共有することで、今後の各校ＰＴＡ活動の運営方針に取り入れていく行事内容等を理解することができました。

宮城県連ＰＴＡ活動について

仙南支部長　関内　利宏

平成28年度、宮城県高Ｐ連事務局校である仙台南高等学校会長の山野公寛氏をはじめ関係者の皆さま、本当にお疲れ様でした。毎年開催される東北大会、全国大会、支部研修会そして各高校の事例発表は大変勉強になりました。現在、支部研修会は各支部での活動となっておりますが、今後各支部がより密な連携をとるためにも、６支部の交流研修会があってもいいような気がしました。検討をよろしくお願いいたします。

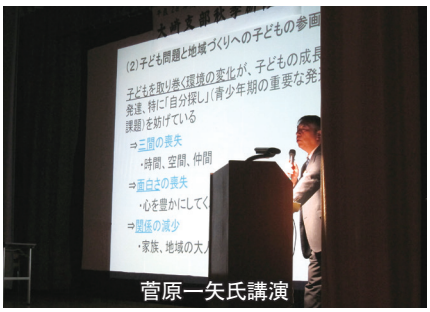
大崎支部

大崎支部秋季研修会報告

支部長　佐々木勇也（加美農業高校ＰＴＡ会長）

11月22日（火）に90名余が参加し、色麻町農村環境改善センターを会場に開催されました。千葉県での全国大会の報告は本校が、話題提供は涌谷高校と松山高校の２校が担当しました。今年度優良ＰＴＡとして文部科学大臣表彰を受賞した涌谷高校は、マラソン大会での豚汁提供や涌谷町特産の小ネギを使用した料理の開発など学校と一体になって活動している様子について、松山高校はＰＴＡ研修旅行の様子など会員同士のつながりを重視した活動について紹介しました。

講演は宮城県教育庁生涯学習課社会教育専門監　菅原一矢先生から、「地域のひと・もの・こととの関わりによって若い力が磨かれる」と題してお話をいただきました。自己肯定感や自己有用感が低いとされる現在の子どもたちが置かれている状況分析に始まり、東日本大震災からの復興に向け、地域で活躍する子どもたちの様子やその活動を温かく見守りながら手助けする地域の大人たちの紹介がありました。大人たちの語りかけは、子どもたちの自我の形成に役立つと力説され、声がけの重要性を認識させられました。



菅原一矢氏講演

「学校と情報の共有を！」

支部長　佐々木勇也

保護者の皆さま、子どもたちと会話できていますか？子どもたちの心の声を聴いていますか？私は学校に出向き、先生方と情報交換します。同じ目線で相談にのっていただき、家庭では目にすることができない子どもの姿が見えてきます。また、私たち保護者が学校と地域をつなぐために必要な情報を共有することにもつながります。生徒たちの活躍のために、家庭・学校・地域が連携し、ＰＴＡ活動が活発に行われ、学校運営に役立つことを願います。

編／集／後／記　「まさか！」。背中を押され、高校からＰＴＡデビューされる方もいらっしゃいます。ＰＴＡから卒業する時は、多くの方々や学びの機会に出会い、やってよかったと達成感に包まれるとお聞きします。その後も出会った方々との交流が続き、かけがえのない友人となっていくようです。子どもを核として家庭・学校・地域の架け橋となるＰＴＡの存在は今後もますます重要です。一回の握手が生む出会いを増やしていきましょう。（T．O）